

令和元年 教育委員会第8回定例会 会議録

日 時 令和元年5月14日（火）

午後3時00分～午後3時49分

場 所 教育委員会室

議事日程

第 1 報告

【子ども支援課】

(1) 幼稚園・保育園・こども園等の在籍状況（令和元年5月1日現在）

【児童・家庭支援センター】

(1) 学童クラブ在籍状況（令和元年5月1日現在）

【学務課】

(1) 学級編制（児童・生徒数／学級数 令和元年5月1日現在）

第 2 その他

【子ども総務課】

(1) 教育委員会行事予定表

(2) 広報千代田（5月20日号）掲載事項

【学務課】

(1) 学校保健会総会の開催

出席委員（5名）

教育長	坂田 融朗
教育長職務代理者	中川 典子
教育委員	金丸 精孝
教育委員	長崎 夢地
教育委員	俣野 幸昭

出席職員（7名）

子ども総務課長事務取扱 子ども部参事	恩田 浩行
九段中等教育学校経営企画室長	大塚 光夫
子ども支援課長	新井 玉江
子ども施設課長	小池 正敏
学務課長	纓片 淳一
指導課長	佐藤 友信
主任指導主事	佐藤 達哉

欠席委員（0名）

欠席職員（５名）

子ども部長	大矢 栄一
教育担当部長	村木 久人
子育て推進課長	中根 昌宏
児童・家庭支援センター所長	安田 昌一
文化振興課長	永見 由美

書記（２名）

総務係長	村松 紀彦
総務係員	橋本 悠

坂田教育長 皆さん、こんにちは。お時間になりました。今回、令和元年の教育委員会、最初の教育委員会ということになります。通算ですから、第8回の定例会ということになります。

開会に先立ちまして、傍聴の方から傍聴申請があった場合には傍聴を許可することとしますので、ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

それでは、早速ですが、第8回定例会を開会します。

本日の教育委員の出席は全員でございます。

今回の署名委員は、中川委員をお願いいたします。よろしくお願い申し上げます。

中川委員 はい。

坂田教育長 本日の議事日程は、お手元のとおりでございます。報告事項とその他事項ということになります。議案はございません。

報告案件の最後のところに掲げております指導課からの報告案件、令和2年度使用教科書用図書採択についてでございますが、このことにつきましては、意思形成過程ということでございますので、地教行法の規定に基づきまして、非公開扱いとさせていただきたいと思っております。

それでは、その賛否を聞きたいと思っております。賛成の方の挙手をお願いいたします。

(賛成者挙手)

坂田教育長 どうもありがとうございました。全員賛成でございますので、そのように取り扱わせていただきます。

◎日程第1 報告

子ども支援課

(1) 幼稚園・保育園・こども園等の在籍状況（令和元年5月1日現在）

児童・家庭支援センター

(1) 学童クラブ在籍状況（令和元年5月1日現在）

学務課

(1) 学級編制（児童・生徒数／学級数 令和元年5月1日現在）

坂田教育長

それでは、日程第1、報告に入ります。

まずは、幼稚園・保育園・こども園等の在籍状況についてでございます。
子ども支援課長より報告をお願いします。

新井課長。

子ども支援課長

それでは、5月1日現在の在籍状況についてご報告させていただきます。

4月の教育委員会では、4月1日現在の在籍状況をご報告させていただきました。5月1日におきましては、4月1日より、幼稚園・こども園のほうは19人増、保育園・こども園のほうは13人増となっております。

幼稚園・こども園のほうにおきましては、千代田幼稚園、昌平幼稚園、いずみこども園、ふじみこども園、短時間のほうがまだ少し空きがあり、これからは入園可能というところとなっております。

保育園・こども園・認定こども園につきましては、3月の時点で、転勤ですとか、辞退だとかありまして、偶然空いたところに何人か入れたというところで、13人増となっております。ただし、例えば下から3行目の二番町ちとせ保育園を見ていただくとわかるんですけども、1・2・3歳はどこもいっぱい、ちとせの場合は4・5歳が入園者が少なかったので、2歳児を多く入れていただいたというようにしておりますけれども、この保育園のほうも、4・5歳はあいていますが、0・1・2はいっぱいです。特に、2歳児の入園希望ですとか、それからきょうだい関係の転園ですとか、家の近くにというような希望の方が多いというような状況になっております。

ご説明は以上です。

坂田教育長

はい。ありがとうございました。

純然たる幼稚園の3歳から5歳というのは、短時間は空きがあると。しかしながら、長く預かるところはすぐにいっぱいになるという状況です。

これから無償化が始まりますが、まだまだ施設の整備が必要だという状況でございます。どこまでこの子どもたち、全国的にはどうか、東京以外のところでは子どもの数は減ってきておるんですが、とりわけ都心はまだ増えるという状況がいつまで続くのかというのがちょっと読めないところでございます。いずれにしても、施設に入って初めて無償化の対象になりますので、できる限りの対応をしていきたいというふうに思っています。

何かご質問、ご意見がございましたらお願いいたします。

金丸委員、お願いします。

金丸委員

すぐの問題ではないんですけども、少し先を見据えたときに、例えばお茶の水幼稚園は結構定員まで余裕がある。こういう状況の中で、園児がふえる可能性はどの程度あるのかということと合わせ見ると、ここも、いわゆる長時間保育というのをやらなきゃいけないのか。やらなきゃいけないとなった場合に、場所的な意味での余裕があるのだろうか。特に、お茶の水は建てかえがありますので、そこは計算しているのだろうかということをやっと教えていただきたいと思っております。

坂田教育長
子ども施設課長

施設課長。

お茶の水幼稚園に関しましては、現在の計画で申しますと、令和4年度中の開設という形になります。幼稚園に関しては、現在、3歳児・4歳児・5歳児で、各1クラスの計3クラスというのが現状になっています。ですが、キャパの問題で申しますと、1学年2クラスまで入れるような準備はやっております。という現実がございますので、6室ということにはなりません。

0・1・2歳の方々を預かることができるかどうかということのお尋ねにだと思っんですけども、その辺、協議会のほうでもそういった議論があったのは現実でございます。ですが、協議会としましては、小学校と幼稚園という、これまでの千代田の幼児教育の伝統といいますか、そういったことを優先するというようなことがございまして、キャパシティーという問題では、6室あるというのは現実でございますが、幼稚園と小学校の整備というのが現実でございます。

坂田教育長

はい。

ほかにございますでしょうか。よろしいですか。

(なし)

坂田教育長

はい。それでは、次に参りたいと思います。

続きまして、学童クラブ在籍状況についてということでございます。きょう、児童・家庭支援センター所長が他の会議に出ておりますので、引き続き子ども支援課長より説明をお願いします。

お願いします。

子ども支援課長

私のほうから、5月1日現在の学童クラブ学年別在籍状況についてご報告させていただきます。

在籍人数合計といたしましては、4月1日現在のものとして前回ご報告と変わっておりません。1,083名です。

特徴といたしましては、例えばいずみ学童クラブ、私立のお子さんはいらっしやらなかったんですけど、1人お入りになりました。二番町こどもクラブは、私立のお子さんがふえまして、20人いらっしやいます。グローバルキッズ飯田橋学童クラブも、1も2も私立のお子さんがふえております。麴町こどもクラブのほうもふえまして、私立へ行っているお子さんが74名ということで、今回多くなっております。

それと、一番最後の東神田らる学童クラブなんですけども、6名から8名に、ふえたにはふえたんですけども、まだまだここは余裕がございますので、いずみ学童クラブもやはり皆さん入ってはいらっしゃるんですけど、こちらのほうにも入っていただけたらと思います。ここはまた、千代田小からも15分くらいなんです。この地域に住んでいる方は、千代田小に行っている方もいらっしゃるので、どちらのほうの方も入れるかなということで、まだまだ空きがあるということでご案内差し上げているところです。

説明は以上です。

坂田教育長

はい。ありがとうございました。

何かご意見、ご質問、ご指摘等がございましたらお願いいたします。

俣野委員。

俣野委員

先ほどお話がありました東神田らる学童クラブと、この隣のキッズクラブ神田というのは、開設したばかりのところですよ。

坂田教育長

子ども支援課長。

子ども支援課長

そうです。千代田小学校の学区域でございまして両方とも4月に開設いたしましたので、まだ、利用者の方が様子を見ていらっしゃるのかなというところですよ。

俣野委員

そうすると、これ、同じ4月にオープンしたんですけども、この東神田が本当に少ないですよ。もうほとんど浅草橋ですよ、ここ。

坂田教育長

今後の人数の見込みは。

子ども支援課長

そうなんです。ただ、グローバルキッズ飯田橋学童クラブも、初めは3人だったんですよ。それが、ここ数年でどんどんふえまして、もう、今100人近いんですよ。というところを考えると、あっという間に埋まっていくかなというように考えています。

俣野委員

ありがとうございました。

坂田教育長

はい。

ほかにございますでしょうか。よろしいですか。

(なし)

坂田教育長

現状こういう状況でございますので、よろしくをお願いいたします。

それでは、報告の次の案件に参ります。

学級編制について。

学務課長、お願いします。

学務課長

本件につきまして、小中学校、中等教育学校の学級編制につきましては、4月9日の第6回定例会におきまして、4月1日現在の状況を報告しております。今回は、統計上の数値となります5月1日現在の状況をご説明申し上げます。

初めに小学校でございまして、一番上の表になります。学級数は、合計欄で言いますと106学級で、全体児童数が2,957名となっております。

4月1日との増減で申しますと、全体で、小学校では2名の増。増減がありますけれども、増が、麴町小、お茶小、千代田小、昌平小で各1名増と。番町小と和泉小で1名の減になっていまして、差し引きで2名の増となっております。

次に、中学校・中等教育学校前期課程でございまして、真ん中の表になります。

こちら、学級数全体で言いますと32学級で、生徒数は1,117名となっております。これは、4月1日と比較いたしますと、全体で、生徒数は5名の増となっております。いずれも麴町中学校の増でございまして、通常学級の4名増と特別支援学級の1名の、あわせて5名の増となっております。

3番目の表の通級指導学級と特別支援教室につきましては、通常学級等の

数字に入っておりますので、説明は省略しますので、表をごらんください。

中等教育学校につきましては、増減はございません。

説明は以上でございます。

坂田教育長

はい。ありがとうございました。

麴町方面のクラスはもう満杯ですね。

麴町は、クラスは増えなかったということでもいいんですよ。

学務課長

学級編制上と言いますと、学校の判断で増にしていけないということです。

1年生については、35でクラスを1増にできますが、全体としては学級増はないということです。

坂田教育長

それは可能なんですか。

学務課長

可能ではあります。ただ、教員の配置はついていきますので、そういう意味では、教育的な条件としては不利益はないです。

坂田教育長

35を超えても、若干であればということでございます。

俣野委員。

俣野委員

神田一橋中学ですけども、生徒数が213ということで、麴町中や九段中等に比べて大分少ないですが、地域外から来るといったことは可能なんですか。

坂田教育長

はい。どうぞ。

学務課長

これについては、条件がある場合は認めております。まず、その学校に余裕があるということが大前提となっております。その上で、例えば勤務先が千代田区内にあって、共働きで、片方が神田一中のそばに通勤しているという場合については認めていますので、そういう条件があれば認めているケースがあります。

俣野委員

例えばこれは定員に余裕がある場合なんですけども、区域外就学については厳しく条件を満たさなきゃまずいということなんですか。

学務課長

例えば小学校で言いますと現在は、麴町小学校と富士見小学校については区域外は認めておりません。中学校については、現状では両校とも認めておりますけども、麴町中はもう、こういう状況ですので、今後、場合によっては区域外を認めないということも当然あり得るかなと思っております。

俣野委員

あり得るだろうね。

私の考えだと、この神田一橋なんか、もうちょっと人数を増やしてもいいわけですよ。ですから、地域外から、希望があれば前広な形で入れるというわけにはいかないんでしょうか。その基準を満たさなきゃだめというところがあるわけですね。

学務課長

基本的に、公立学校の場合、定員というのがなくて、住民の数に応じて入れるという条件です。

俣野委員

はい。

学務課長

ですので、麴町中とのアンバランスが続いた場合は、現状の学校選択も含めて、あり方を考えていくということもあるのかなと思います。

俣野委員
 坂田教育長

なるほどね。ありがとうございました。

はい。

ただ、神田一橋中は、今年の1年生は相当増えましたよね。3クラスになりましたね。

俣野委員
学務課長

そうですね。

今回は、昨年と比べて、神田一橋中学校の生徒数、入学者は増えております。

坂田教育長

ほかに何かご質問はございますでしょうか。

では、学校のほうもこういう状況にはなってきております。やはりどちらにしても、麴町方面の子どもの数が相当増えているというのは間違いないんです。これは、マンション建設等々とリンクしてくる話なんです。

義務教育は、とにかくそこに住んでいる方は入れなきゃいけない話でございます。先般、港区の教育長さんとお話する機会があったんで聞いたんですが、やはり学校を増やしますと、新設するということまで来ているようです。

我々この千代田区というのは、相当増減の揺り戻しも大きいところですので、一時こうやって統廃合した後にもまたふえてきたという経緯があります。今度は増やせばまた減ってくるという可能性だって多分にあります。近い将来を見据えながら、対応はしていかなきゃいかんということでございます。

ほかによろしいですか。

(な し)

坂田教育長

はい。ありがとうございました。

◎日程第2 その他

子ども総務課

- (1) 教育委員会行事予定表
- (2) 広報千代田(5月20日号)掲載事項

学務課

- (1) 学校保健会総会の開催

坂田教育長

それでは、教科書につきましては、後ほどということにさせていただきますので、日程の第2、その他に入りたいと思います。

教育委員会行事予定表についてでございます。

子ども総務課長より説明をお願いします。

子ども総務課長

それでは、ご説明をさせていただきます。

予定表でございます。今週の金曜日、5月17日の8時半から九段中等教育学校体育祭がございます。

それから、今ちょうど移動教室とそれから孺恋自然体験教室が行われているという状況になっています。

裏側に行きまして、5月29日15時から教育委員会定例会。議会の関係で日

程が動いていますので、よろしく願いいたします。

それから、6月6日、こちら、後ほどまたご説明させていただきますけれども、14時から学校保健会総会でございます。場所はカスケードホールになります。

それから、一番下です。6月11日15時から教育委員定例会ということでございます。

主な行事は以上でございます。

坂田教育長

はい。それではよろしく願いいたします。

引き続きまして、広報千代田の5月20日号ですね。掲載事項一覧でございます。

総務課長、お願いします。

子ども総務課長

はい。5月20日号の広報掲載事項一覧でございます。

例年のものということで、1番の至大荘の「親子の臨海体験」。それから、先ほどお話がありましたけれども、来年4月開始予定の認可保育所の概要のご案内など。それから、子育てサポートの利用会員の登録説明会。あと、児童館等で行われる事業のご案内という形になっています。

8番目ですけども、教科書の展示会が、6月3日から28日まで図書館のほうで開催をされます。

それから、9番目です。すみません、ちょっと、ここ、誤植がございまして、事業の概略のところですけども、「7月上席落語芸術協会真打ち昇進披露公演」ということでございます。申し訳ございません。

それから、文学賞について、今年度も作品の募集をするということで、夏休みの宿題を兼ねてやっていただくような感じになっています。

14番が重複しておりますので、すみませんが削除をお願いいたします。

あと、生涯学習に関しては、スポーツセンターでの卓球大会、それからTOKYOウォークなどということでございます。

広報原稿については以上でございます。

坂田教育長

はい。広報に掲載される事業でございます。

1番目のこの至大荘の行事、法人九段という組織がこうした事業展開をしているんですね。

俣野委員。

俣野委員

これは九段中等の学生しか利用できないのかなという、ちょっと素朴な疑問があるんですね。

坂田教育長

まずは学校側で、小学校、中学校も含めて、そういう利活用したいという意向があれば、決して話しができないというものではございませんので、あり得るんだろうなと思います。

九段中等教育学校経営企画室長

至大荘実行委員会というのが、夏の行事に向けて何回か、学校側法人九段の役員が来て打ち合わせがあるんですけども、その時に聞いてみます。

坂田教育長

はい。ということで、有効利用できれば、それはそれであり得るんでしょうけども。ということでございます。

主任指導主事 すみません。1カ所、確認が漏れておりまして、申しわけございません。
8番の教科書展示のところなのですが、3日は作業日となっていて、実際は4日からでございます。大変失礼しました。申しわけありません。

俣野委員 6月4日からということですか。
主任指導主事 6月4日の火曜日からが展示です。
子ども総務課長 校正自体は別にやっておりますので、問題なかろうと思います。
坂田教育長 ほかにお尋ねはございますか。よろしいですか。
(なし)

坂田教育長 はい。それでは、広報掲載事項は以上とさせていただきます。
続きまして、学校保健会、先ほど話題になりましたけれども、総会の開催についてということです。
総務課長、続けてお願いします。

子ども総務課長 先ほどもございましたけれども、学校保健会ということで、令和元年6月6日木曜日、午後2時から4時ということで、いきいきプラザ一番町のカスケードホールで開催いたします。
こちらにも記載させていただきましたけれども、ご来賓として、例年、教育委員の皆様にご出席いただいておりますので、日程のほうを押さえていただきたいというふうに思っております。
本日、机の上に招待状もお配りしてあるということでございますので、どうぞよろしく願いいたします。
以上です。

坂田教育長 何かご質問はよろしいですか。
(なし)

坂田教育長 それでは、そういうことでよろしく願いします。
それでは、日程の最後といたしました教科書採択についての議事ということになりますが、ここで休憩します。
(休憩)